

活動報告

団体名	RQ小泉ボランティアセンター
活動名	呉市安浦町における豪雨災害からの復旧復興のための支援活動
活動期間	2018年7月～2019年3月
活動の成果	<p>今回の活動においては、呉市社会福祉協議会およびくれ災害ボランティアセンターからの災害VCの運営支援との要請を受けての活動であり被災された方々への直接的な支援も有ったが、災害VC安浦サテライトの運営がメインであった。そこで、不慣れな社協や自治体の職員、自治会関係者、運営ボラさん等への運営方法や資機材についてのレクチャーや手配、マッチングの手法、ニーズに対する作業内容や必要人員数、必要資機材についての指導、作業ボラさんのコーディネートや手配等、また隣接して買い損津されていた避難所のケアや双方の必要物資の受け入れ仕分け供出等を通じて間接的ではあるが被災者支援にもなり復旧復興の一助にもなったのではないかと思います。また、長期活動ボラさんの中から各地区ごとのリーダーを決め、運営スタッフとして活動をしていただき彼らにも災害VC運営のノウハウを教えまた作業の手法等も指導し活動していただいた。中には過去別の災害においても活動されてきた方もいたが、中心的な役割を持ち活動されたという方が初めてであるという方が多数であり、彼らには各自の地元で災害発生時における活動の統括等の手法等を持ち帰ってもらい次の災害に備えるという事にも役立っていると考えます。</p> <p>また、今回の活動要請の中には呉市社協、呉市危機管理課市民協働課より、今回の災害の様子外部との交通が遮断され支援の手が入って来づらい状況の時に住民を中心に地域のみでも自助共助を発揮し自分たちだけでも災害VCの立ち上げから運営まで出来るようにレクチャーをして欲しいとの依頼も受け自治会連合会を通じ各自治会会長や役職者や有志の方にも加わっていただき、主に活動現場への送迎や資機材管理、また地域の実情を事細かに把握されているのでニーズに対する現地調査やマッチングにも入っていただきこれまで各被災地において経験してきた事や研修会などで得た知見をお伝えし、次の災害に備えていただくという活動も併せて行った。結果、これまで地域では消防団に任せっきりにしてきた防災減災対策やそのための活動や平時から災害に備えることについての意識の向上がみられるようになってきたと、自治会連合会会長からも話が有り、また各自治会からも防災訓練をやりたいが内容や手法についての相談が寄せられる様になり、実際に訓練を実施し手伝いや助言を行っている。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>各地で災害が多発する中で、被災地や被災された方々、またご縁があって支援活動をさせていただける事になった私達にあたたかいご支援をくださり本当にありがとうございました。</p> <p>目に見える被害は市街地等ではほとんど無くなってはきておりますが、山等の傷痕はそのままであり大雨の時はまだまだ不安になる方々も多くいらっしゃいます。また、厳しい生活再建の途上であり先行きに不安を感じている方々も。そういった方たちの不安を少しでも軽減させ、少しでも早く元の生活に戻れるようにお手伝いをさせていただきたく活動を継続させていきたいと思っております。</p> <p>どうか今後も被災地、被災者への関心をもって暖かく見守ってくださいますようお願い申し上げます</p>

今回、ご縁があって皆様からの暖かいご支援を頂きましたことに深く感謝をいたします。ありがとうございました。

(活動のようす)

